



京浜港湾事務所

工事名 横浜港新本牧地区岸壁(-18m) (耐震)海上地盤改良工事

工期 令和2年3月16日 ~ 令和3年1月29日

施工会社 東洋・あおみ特定建設工事共同企業体

工事内容 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)の整備に向けて、海底地盤を改良します。

新本牧ふ頭 整備地区



REPORT

横浜港の新たなふ頭「新本牧ふ頭」を、災害にも耐えうる強靱な施設にするために、最初の工事として、海底の軟弱地盤の改良を行いました。

工事では、まず砂撒船で山砂を軟弱地盤上に撒く敷砂工を行い、続いてサンドコンパクション船を用いて、地盤へ固い砂の杭を作成する締固工を行いました。最後にCDM船を用い、セメントをミルク状にしたものを地盤に注入攪拌し、地盤を強固にする固結工（深層混合処理）を行い、地盤改良工事が完了しました。

今後は、地盤改良した地盤の上にマウンド（捨石）を構築し、岸壁本体を構築する工事を行っていきます。



・敷砂工 (砂撒船)



・締固工 (サンドコンパクション船)



・固結工 (CDM船)

現場より



東洋・あおみJV
工事担当 菊地さん

新本牧ふ頭を整備するための最初の工事ということで、緊張感をもって工事を進めました。建設業界は高齢化が進行していると言われてますが、当JVは職員7名中4名が入社5年目以内の若手で構成され、フレッシュな視点で現場を見つめることができました。

海上地盤改良工ではCIMを導入し、課題解決・業務効率化を図りました。CIMを活用することで施工状況の見える化や地盤改良による盛り土量を正確に把握することができました。また、タブレット端末を用いた施工管理、施工状況の遠隔確認、ドローンを活用した濁り発生確認等、ICT技術を積極的に活用し、生産性が高い現場になるよう工夫しました。



タブレット端末等を用いて、施工状況を確認しています。

次は岸壁本体の築造を行う築造工事をしていくよ！ 今後のレポートもお楽しみに！

